

JAだより

8

2018

August

第122号

特集

JA白山の自己改革



表紙の写真
ひまわり迷路
(井口町)

JA白山青壮年部館畑支部が毎年作るひまわり迷路。
今年も大輪の花を咲かせ、地域の人々の憩いの場となった。



JA自己改革アンケートの中間報告

本年3月の試行的自己改革アンケート実施にご協力いただきありがとうございます。

(調査期間:平成30年3月1日～3月16日 無作為に抽出した組合員1,000名を対象)

アンケート対象
正組合員 (正)
准組合員 (准)

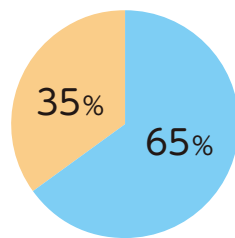
JA自己改革とは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」の確立に取り組むことです。

JA白山は豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向け、組合員の思いを経営に反映させるために、アンケート調査を実施し、1人1人の声を聞かせていただきました。

● 組合員様ご自身について

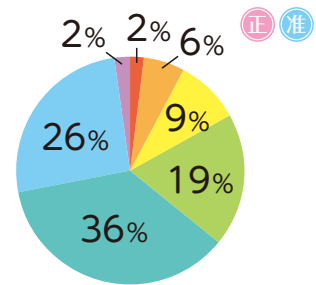
Q1. 組合員属性

正組合員
准組合員



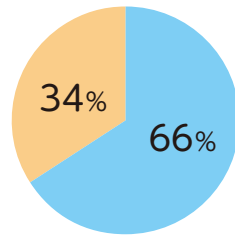
Q2. 年 代

29歳以下
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上



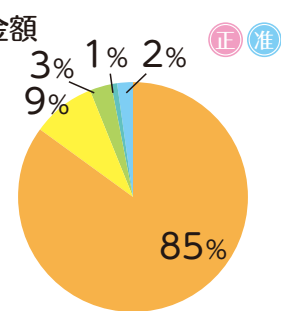
Q3. 性 別

男性
女性



Q4. 農畜産物の販売金額 (過去1年間・税込)

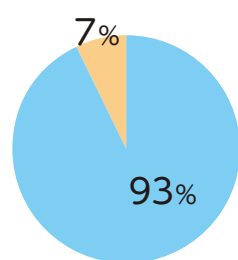
なし
100万円未満
100万円
～300万円未満
300万円
～1,000万円未満
1,000万円以上



● JAの総合事業

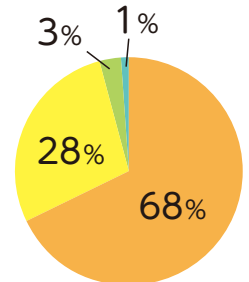
Q1. あなたが利用しているJA事業(これまでに利用した事業を含む)はありますか？

ある
ない



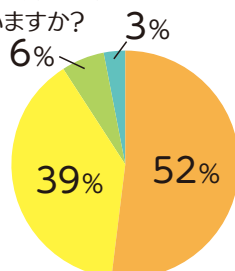
Q2. JAは地域農業や暮らしに必要な存在だと感じになりますか？

感じる
どちらかといえば感じる
どちらかといえば感じない
感じない



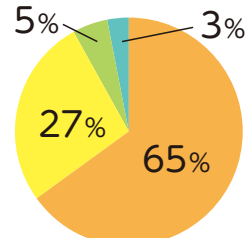
Q3. 地域の農畜産物を食べることや地域農業の体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか？

思う
どちらかといえば思う
どちらかといえば思わない
思わない



Q4. JAは、農業関連事業(営農指導事業、農畜産物販売事業、生産資材購買事業など)を行っていますが、このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？

総合事業を継続すべき
どちらかといえば継続すべき
どちらかといえば特化すべき
農業関連事業に特化すべき

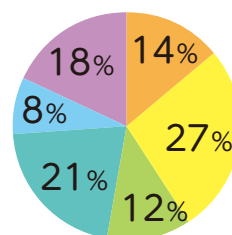


● 自己改革の認知度

Q1. あなたのJAは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標に地域農業の振興は地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存知ですか？

正 准

- 総代会などで知った
- パンフレットなどで知った
- イベントなどで知った
- JA職員から聞いた
- そのほかの方法で知った
- 全く知らない

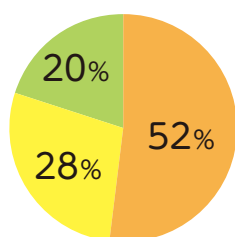


● 准組合員制度

Q1. あなたは准組合員の事業利用の意義について、ご存知でしたか？

正

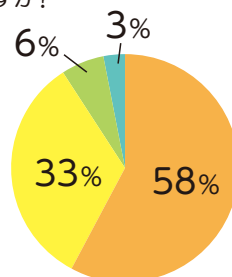
- 知っていた
- このアンケートで知った
- 知らない



Q2. 准組合員のJA事業利用は、正組合員（農業者）にとっても必要だと思いますか？

正

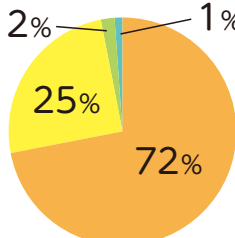
- 必要
- どちらかといえば必要
- どちらかといえば不要
- 不要



Q3. 准組合員のJA事業利用が、正組合員（農業者）が利用する農畜産物販売事業や生産資材購買事業の改善や拡大を阻害していると思いますか？

正

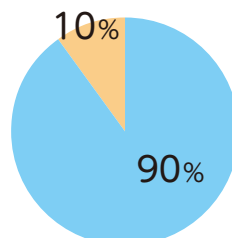
- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらかといえば思わない
- 思わない



Q4. 准組合員のJA事業利用を制限されることについてどうお考えですか？

正 准

- 制限しない方がよい
- 制限した方がよい



理事会だより

第4回理事会

日時／平成30年7月27日（金）午後2時～

審議事項

第1号議案 平成29年度産米穀共同計算結果について（可決）

平成29年度産米穀共同計算結果について審議し、その内容が承認されました。

第2号議案 信用手数料徴収規程の一部変更について（可決）

平成23年10月より導入してきたファームバンキング（FB）は、法人JAネットバンク（NB）の導入に伴い、県下における取扱いを終了するについて審議し、承認されました。

第3号議案 平成29年度ディスクロージャー誌（情報開示）について（可決）

平成29年度ディスクロージャー誌について審議し、承認されました。

第4号議案 理事報酬額の決定について（可決）

平成30年6月23日開催総代会にて総額で承認された理事報酬の職位別報酬額について審議し、その内容が承認されました。

第5号議案 本店改装工事における設計・施行管理者、工事施行業者及び工事金額の承認について（可決）

本店改装工事において、第1回建設委員会を選定した設計・施行管理者及び第2回建設委員会にて実施した入札会の結果について審議し、その内容が承認されました。

報告事項

1 平成30年6月末事業実績について

2 道の駅直売所6月末収支報告について

3 平成29年度全般統制評価の実施結果について

4 平成29年度産加工用米、政府備蓄米の一体的取組による共同計算等の精算について

5 平成30年度第1四半期 自店検査結果について

6 平成30年度第1四半期 有価証券運用実績について

7 平成30年度第2四半期 余剰金運用方針について

8 平成30年度第2四半期 子会社アグリサポート白山事業報告について

9 平成30年度第1四半期 苦情等の受付対応処理状況について

10 平成30年度第1四半期 事務ミス等の発生状況について

11 平成30年度第1四半期 反社会的勢力等にかかる対応状況について

12 平成30年度第1四半期 組合員数について

13 JA（白山・松任・のの）役員・運営委員会合同研修会の開催について

14 その他

平成30年7月豪雨JAグループ支援募金活動の取組について
これら14項目について報告しました。



ナス部会初出荷

7月5日、ナスの初出荷を行いました。前日から続く暴風雨の中、早朝より作業を行い、秀品・優品合わせて23ケースを出荷しました。連日猛暑ですが順調な出荷が続いており、10月頃まで出荷します。

13日に白山市内の小中学校23校で行われた「はくさん夏野菜カレー」給食にナス148kgを提供しました。白山市が行う「白山市「夏野菜」を食べよう月間」の一環であり、地産地消、食育活動に貢献しました。

ナスの皮には、体の熱を逃がす働きのカリウムが豊富に含まれており、夏バテ解消のために食す場合は、漬物やサラダなど加熱を控えるものがおすすです。



光沢のあるナスが揃いました



「よらんかいねえ広場」出荷者協議会 栽培講習会開催

7月4日と11日、「よらんかいねえ広場」出荷者の栽培講習会を行いました。JAグループ石川営農戦略室の小田桐さんを講師に迎え、2日間で延べ21名の参加者は圃場14か所を巡回。生育状況を確認しながら、生産量や多品目生産の拡大へ、知識の向上を図りました。

一般的な野菜だけではなく、サラダピーマンや海老芋など、新しく取り組んでいる生産者もあり、今後の管理や施肥など多くの事を学びました。



各地を巡回し、より良い栽培方法を学んでいます



水稻ヘリ防除

7月24日から鶴来・手取地区で、水稻早生品種の無人ヘリ防除が始まりました。カメムシなどによる斑点米被害（米に黒い斑点がつく）を防ぎ、品質・等級を保持し生産者の所得減少を防ぐために行っています。

営農経済部ではラジコンヘリ散布作業での事故防止のために、18日にオペレーター安全講習会が行われ、人畜、農産物、周辺環境等に対する安全性を確保し、適正かつ円滑に実施することを確認しました。

水田約250haへの2回の散布作業は、8月中旬まで行われます。ご協力いただいた近隣の皆さま、誠にありがとうございました。



鶴来地区での様子



直播部会 圃場巡回

7月20日、石川農林総合事務所2名と直播部会会員12名、営農指導員が圃場巡回を行いました。

出穂前の葉色状態・幼穂の長さを確認。出穂時期の予想と肥培管理、水管理、病害虫対策について説明がありました。

今年は平年より気温が高く少雨のため、今後の気象情報に注意し適切な管理が必要であることを確認しました。同部会は6月25日に、富山県射水市でV溝直播での2年3作（米・麦・大豆）の取り組みなどを視察し、栽培方法や作業員の育成方法等を学び、より知識を深める活動にも取り組んでいます。



蝶屋地区の圃場での様子

営農だより



よらんかいねえ広場出荷者農園 生産者インタビュー

7月21日、よらんかいねえ広場駐車場の農園で、生産者の伊藤幸司さん(陽羽里)にお話を伺いました。

4月12日の北國新聞の記事を見て、「以前から庭でプランター栽培をやっていた。もともと農業に興味があったため、家族の後押しもあり3月の退職を機に農園をやることを決めた」とのことでした。

「プランター栽培とは違い戸惑うこともあるが、水管理や施肥、虫食いなど営農指導員や同じ農園仲間から助言をもらえるので、初心者でもやれている」と嬉しいお話が聞けました。すで



早朝5時から元気に作業していました

にナスとピーマン、インゲンをよらんかいねえ広場へ初出荷したそうです。「出荷を目標にすることで作る楽しみとやりがいを感じている。」

出荷時は、定植の日や肥料の種類などの栽培記録を詳細に提出しなければならず、書き方など戸惑いもあったが、JA職員に教わり不安はなかった。育てた野菜が売れて無くなったのを見るところれしかった。これからも順調に出荷できるようにになりたい」と話されました。

この日はお孫さん3人と奥様も一緒に、早朝からジャガイモとキュウリを収穫。用意した箱4つがいっぱいになりました。

5月6日に、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモ、枝豆、キュウリ、トマト、ナス、ピーマン、オクラ、カボチャなど家族と一緒に定植した苗は、周りのベテラン生産者に負けず劣らず大きく育ち、収穫を待つばかりとなっています。



取材を受けてくださった
伊藤幸司さん



元気の源

6月25日、月橋町の山岸嘉平さん(86)の梨園では、蒸し暑いなか奥様の雪子さん(83)と娘さんの3人で、頭上に張られているワイヤーに梨が触れて痛まないよう手入れ中でした。

雪子さんは梨園を『生きがいセンター』と呼び、「毎日来ることで梨の木から元気をもらっている」と話し、笑顔で100本分の作業をしています。梨の木を植えて48年。年齢を考えると毎年今年で最後と思いながらも、ファンの方から「今年も作るんやろ」と言われると、楽しみにしてくれている人のために頑張つて続けられたそうです。

8月後半の収穫はほとんどが固定客の予約で無くなりませんが、よらんかいねえ広場にも出荷される予定です。



笑顔が素敵な山岸雪子さん



小ギク初出荷

7月31日、蝶屋地区で小菊の出荷が始まりました。

猛暑の影響で外気が25度以上あるため、ツボミをつけても硬いままで開く様子が見られず、出荷時期が危ぶまれました。

生産者は早朝や夕方に水を撒き、試行錯誤で菊周りの気温を下げる取り組みなどを重ねました。改めて生育状況と出荷時期の調整は難しいと感じました。

初出荷では、秀品・優品合わせて11箱を出荷しました。

よらんかいねえ広場への花束の出荷も、お盆前から行つ予定です。



安産営農組合の圃場にて

いち いち

支店 協同活動



蝶屋支店

親睦ゴルフ大会

7月11日、白山カントリー・松風コースにて親睦ゴルフ大会が行われました。強い日差しの中15名の参加者は、それぞれに親睦を深めプレイを楽しみました。

優勝 山田 茂一さん
2位 石村 勉さん
3位 喜多 栄一さん
4位 南 茂治さん
5位 宮崎 茂さん



蝶屋支店

通学合宿（美川公民館）

7月3日、美川公民館にて「美川三校区通学合宿」（美川地区）が開かれました。

蝶屋支店の木戸口支店長と青壮年部蝶屋支部の中島支部長が、「地元でとれたお米をたくさん食べて、暑い夏を乗り切ってほしい」と、白山コシヒカリ20kgを贈呈しました。

食育教育では、JA全農いしかわの坂本桐子さんが県内の農産物や農家の大変さなどを写真を使い説明し、「地元の米や野菜、果物などを感謝して美味しく食べてほしい」と話しました。



大神支店

かわちこども園

ジャガイモ収穫体験

7月10日、かわちこども園の園児10名を、ジャガイモ掘りに招待しました。園児たちは、JA職員や運営委員と一緒に、準備したカゴ4箱に収まらないほど収穫しました。とても暑い日でしたが「楽しい」「大きいのとれた」と大はしゃぎで、休憩を挟みながらも満喫した様子でした。

収穫したジャガイモは、園児のお土産のほか、よらんかいねえ広場にも出荷しました。



つるぎ支店

ちやぐりん寄贈

7月19日、明光小学校へ「ちやぐりん」8月号（家の光協会）を寄贈しました。

下次長は「生徒の皆さんに活用してもらいたい」と挨拶。小林良彰教頭先生へ手渡しました。学校司書の吉田晴子さんは「マンガや料理・工作などが載っていて活用しやすい。各学年と図書室に置く」と話しました。

今回、JA白山管内の小学校10校に計100冊を寄贈し、食農教育の促進を図りました。



女性部



第1回グリーンレディースカレッジ

くらしに役立つ防災講座

6月30日、第1回グリーンレディースカレッジ「くらしに役立つ防災講座」を、講師に鶴来消防署坂田さんを招き開催しました。

主に防火についての講義で、トラッキング（漏電現象）や半断線などが火災に繋がると注意がありました。また、カーテンなどの「防災品」の効果や住宅用火災警報器の交換時期、など、日頃から防災に気をつけるよう指導がありました。

講義後は、水の入った練習用消火器を使った実演講習がありました。20名の参加者はなるべく近づいて火元に当てること、噴射時間が17秒ほどしかないことを体験すると、「実際の火災現場であわてると、火元に当たらず消火できない。冷静にできるように日頃から意識が必要」と話しました。



料理教室

「高齢者用お弁当作り」

7月25日、蝶屋レディースメイト9名が「高齢者用お弁当作り」を行いました。

講師の伊奈和子さんは「高齢者向けに薄味で柔らかく、タンパク質・青魚・温野菜など栄養バランスを考えた。夏なのでさっぱりとした味になっている」と話しました。

岡田篤子部長は、「高齢者向けのお弁当作りは昨年より企画していたが、なかなか取り組めなかった。今回の試作を基に、いずれ不定期でも作れないか検討したい」と、今後の展望を語りました。

内容は、鶏のハンバーグ、魚の塩麹焼き、夏のおでん、ジャガイモのカレー炒め、紫玉ねぎのマリネ、キュウリの中華漬、わかめとごま塩のおにぎり、鮮やかで目でも楽しめる仕上がりでした。



青壮年部



ひまわり迷路で自然体験

7月11日（13日）、青壮年部館畑支部が作ったひまわり迷路に、鶴来第二幼稚園44名、ふじ保育園29名、くらやま保育園21名を招待しました。気温の高い中、最初は並んで歩いていた園児たちも、大喜びで何度も行き来して自然を満喫したようで、「楽しい」「いい匂い」「もう一回」と辺りにはかわいい笑い声が響きました。

5月から種蒔き、苗の定植、水やりなど丹精して育てた甲斐があったと、盟友にも笑顔が絶えませんでした。さっそく次回に向けたアイデアが出ており、今から楽しみです。



ふじ保育園



くらやま保育園



鶴来第二幼稚園

ボランティアクラブ

7月11日、つるぎ支店ボランティアクラブ4名が「特別養護老人ホームあじさいの郷」を訪問しました。

七夕にちなんだ紙芝居や歌を歌い、氷室饅頭にかけて落語の「饅頭こわい」を披露するなど、趣向を凝らした出し物で入居者の方と親睦を深めました。短尺に何を書きますかと聞くと「家族が元気になれるように」と心温まる願いが聞かれました。



ふれあいサロン



上吉谷もみじ会

7月13日、上吉谷公民館でふれあいサロンが開かれました。吉野谷コメヤ薬局 管理栄養士の槌谷優美さんによる「夏バテ防止の食事」講座は、夏バテの原因や解消策、意識して摂りたい栄養素がわかりやすく説明され、日頃から意識することの大切さを学びました。参加者18名は熱心に聞入っていました。





JA白山年金友の会

乗鞍の大自然でウォーキング満喫

7月18日、「さわやか健康ウォーキング乗鞍・豊平」を開催し、232名の会員が参加しました。

早朝6時頃の本店出発時にはすでに気温が27度あり、熱中症など心配されましたが、白山と標高が同じ2702mの豊平では18度ほど快適でした。

快晴にも恵まれ、ゆったり周れるお花畑周回コースや、足に自信のある方は魔王岳や富士見岳を登り、2時間半の散策をそれぞれに楽しみました。

万年雪が残る「不消ヶ池（きえずがいけ）」や、

淡紅色の花とパセリ風の葉の色が印象的な高山植物「コマクサ」など、大自然を満喫し「癒された」「楽しかった」との声をいただきました。

来年もたくさんの皆さまのご参加をお待ちしております。



JA白山

第10回 年金ゴルフ大会 参加者大募集

日 時 平成30年10月4日(木)

会 費 8,300円(プレー代金込)

場 所 白山カントリー倶楽部

※ビジター・メンバー共通

松風コース (能美市三ツ屋町又30)

参加資格 現在JA白山にて年金をお受け取りになっている方、または、55歳以上で将来JA白山で年金のお受け取りを予定されている方。詳しくは、最寄りの支店窓口にてお尋ねください。

申込期限 **9月14日(金)** 豪華賞品を用意しております。奮ってご参加ください。



安全・安心・
心をこめて
作っています。

(有)アグリサポート白山は

地域農業振興に向けて情報発信と営農支援に取り組んでいます

カボチャ収穫

7月20日、カボチャの収穫が行われました。

カボチャは収穫後2〜3週間程度、風通しの良い日陰(又は冷暗所)に保管し追熟します。追熟することで、デンプンがゆっくり糖に変わってホクホクりと甘くなり、3カ月ほど保存が可能になります。



みずみずしく
育ちました!

1か月で2mほどに
なりました!



トマトは色づきを
待たばかり

「ういずOne」
生育順調

7月17日、アグリサポート白山が取り組んでいる「ういずOne」を活用し栽培したキュウリの出荷が始まりました。

発泡スチロール箱を用いた隔離床溶液栽培で、点滴チューブで圃場内の水分と養分を自動灌水施肥することで、均一を図っています。

管理次第で露地栽培よりも収穫時期を延ばすことが出来、露地栽培品の出荷ピークを過ぎても販売が可能になり、「農業者の所得増大」に繋がると期待されています。

ミニトマトも順調に育ち、お盆を過ぎた頃に収穫を迎えそうです。

興味をお持ちの方は、営農センターまでお問い合わせください。
(TEL 273-5277)

おしらせ



横断歩道前で停止を怠ると事故になることもあります



車に内輪差があることを実感



挨拶をする竹内組合長

7月18日、鶴来中学校でJA白山主催「自転車交通安全教室」を開催しました。交通事故の実演を通じて事故の恐さや衝撃を実感し、交通ルールの大切さを伝えました。

スタントマン6人が、逆走による自転車同士との衝突、ルール違反の自転車が自動車に衝突する様子などを実演。自動車の内輪差や運転手の死角による事故の解説もあり、「ルールを守っていても事故に巻き込まれる場合もある」と注意を呼び掛けました。

開催に先立ち竹内文雄組合長が「平成

交通事故再現で自転車ルール学ぶ



29年の自転車事故は約9万人、そのうち死傷者27000人が19歳以下で全体の約3割を占めます。生徒の皆さんには事故の恐ろしさを理解し、交通ルールを守ってほしい」と挨拶しました。

最後に生徒代表が「事故の恐さを知った。これからも交通ルールを守る」とお礼を述べました。

この教室はJA共済連石川、県警本部、白山署にご協力いただきました。

共済こぼれ話 入って良かった…JA共済

5年ほど前になりますが、定期的に訪問していたお客さまの話です。集金を終えて、共済の加入内容の説明をしていたときに奥さんが、旦那さんの病気について色々とお話をしてくれました。旦那さんの病気は、だんだんと目が見えなくなり最終的には失明してしまうというもので、その話を聞いたとき「これは共済金の請求ができるのではないか」と思い調べた結果、「後遺障害共済金」の支払事由に該当したため請求手続きをしました。旦那さんも奥さんも非常に喜ばれて、「JA共済に入ってよかった」と言ってくださいました。

共済がお役に立てたのはもちろん、共済に入ってよかったの言葉はなによりうれしかったです。

(複合渉外担当Mさん)

JA共済の保障のポイント



生命の保障編

「後遺障害共済金」、「災害給付金」のお支払い例をご紹介します。



ご契約例

災害給付特約 500万円
定期特約 2,800万円
終身共済(主契約) 200万円



糖尿病性網膜症により、視力が低下して両目を失明した場合
疾病による後遺障害第1級1号に該当した場合です。

後遺障害共済金 200万円
特約後遺障害共済金 2,800万円
合計 3,000万円



広範囲にわたる脳梗塞により、自らは何ひとつできない状態となった場合
疾病による後遺障害第1級10号に該当した場合です。

後遺障害共済金 200万円
特約後遺障害共済金 2,800万円
合計 3,000万円



交通事故により、右足を下腿部付近で切断した場合
災害による後遺障害第2級17号に該当した場合です。

災害給付金 500万円 × 80%
合計 400万円



転倒して股関節を脱臼、片足の股関節に人工骨を入れた場合
災害による後遺障害第6級60号に該当した場合です。

災害給付金 500万円 × 40%
合計 200万円



脱臼等の機械に指をはさまれ、片手の母指(親指)をつけ根から切断した場合
災害による後遺障害第7級78号に該当した場合です。

災害給付金 500万円 × 30%
合計 150万円



電動草刈機で作業中に、動作を誤って片足の親指をつけ根から切断した場合
災害による後遺障害第8級102号に該当した場合です。

災害給付金 500万円 × 20%
合計 100万円

※全てのお支払い例について、共済期間内に原因が発生し、症状が固定していることがお支払いの要件となります(治療により回復が見込まれる場合は後遺障害の認定はできません)。

※お支払い例①について、特定視力障害不担保法による特別条件特約を付加した契約の場合には、被共済者等が眼病または眼病付属病に生じた疾病により第1級の後遺障害の状態、重度要介護状態または疾病重度障害状態になったときでも、後遺障害共済金を支払いません。

この他にも、JA共済の後遺障害保障は幅広く、128項目もあります。

平成29年石川県産米の共同計算及び生産者手取額

・米需給調整需要拡大基金拠出者の米穀

単位:円/60kg(税込)

銘 柄	等級	販売 価格	集荷・流通・販売等の経費					共同計算精算額					JA白山 助成金 出荷時払	利用高 配当金 30/7/25	生産者手取額
			流通・ 保管等 経費	生産・ 集荷・ 販売等 経費	その他 経費	手数料	合計	仮渡金 出荷時払	中間 精算 30/4/25	全農 共計 精算 30/7/31	JA白山 共計 精算 30/7/31	合計			合計
コシヒカリ	1	15,553	1,140	172	55	756	2,123	12,500	806	124	68	13,498	100	162	13,760
	2	14,905	1,140	172	55	756	2,123	11,806	900	76		12,782		162	12,944
	3	13,825	1,140	172	55	756	2,123	10,706	900	96		11,702		162	11,864
ゆめみづほ	1	14,645	1,140	172	55	756	2,123	11,800	506	216	258	12,780	100	162	13,042
	2	13,997	1,140	172	55	756	2,123	11,106	600	168		11,874		162	12,036
	3	12,917	1,140	172	55	756	2,123	9,706	600	488		10,794		162	10,956
ひやくまん穀	1	15,353	1,140	172	55	756	2,123	12,206	900	124		13,230	100	162	13,492
	2	14,705	1,140	172	55	756	2,123	11,606	900	76		12,528		162	12,744
	3	13,625	1,140	172	55	756	2,123	9,706	900	896		11,502		162	11,664
北陸12号	1	17,177	1,140	172	55	756	2,123	13,686	600	768		15,054	100	162	15,316
五百万石 ・石川門	特	16,497	1,140	172	55	756	2,123	13,006	600	768		14,374	100	162	14,636
	1	16,097	1,140	172	55	756	2,123	12,606	600	768		13,974	100	162	14,236
	2	15,017	1,140	172	55	756	2,123	11,106	600	1,188		12,894		162	13,056
	3	13,937	1,140	172	55	756	2,123	10,006	600	1,208		11,814		162	11,976
白山もち	1	12,879	1,140	172	55	756	2,123	9,906		850		10,756	100	162	11,018
	2	12,231	1,140	172	55	756	2,123	9,306		802		10,108		162	10,270
	3	11,151	1,140	172	55	756	2,123	5,206		822		6,028		162	6,190
カグラモチ	1	12,901	1,140	172	55	756	2,123	9,906		872	110	10,888	100	162	11,150
	2	12,253	1,140	172	55	756	2,123	9,306		824		10,130		162	10,292
	3	11,173	1,140	172	55	756	2,123	8,206		844		9,050		162	9,212

コシヒカリ 1 等・ゆめみづほ 1 等の仮渡金は94円/60kg(税込)加算し、中間精算で差引いて支払。

※経費の主な内容

1. 流通・保管等経費（保管料、入出庫料、運賃、仮渡金等の金利、集約保管等の経費、安全・安心等検査費用等、フレコン使用料、産地精米等品質向上対策費）
2. 生産・集荷・販売等経費（JAへの支出経費、広告宣伝等の経費等）
3. その他経費（安全安心集荷対策費）
4. 集荷対策費（生産者のフレコン出荷等の対策費）
- ※ 米需基金未拠出者は、拠出者より仮渡金において一律80円/60kg引きとしている。
- ※ 生産者への国からの助成金
経営所得安定対策交付金【(平成29年12月) 7,500円/10a】県平均で865円/60kg(税込) となる。(7,500円/10a÷県平均単収520kg)

平成30年石川県産米共同計算方法

1. 共同計算の実施単位

銘 柄	等級	銘 柄	等級
●うるち米 コシヒカリ ゆめみづほ ひやくまん穀	1 等	●酒米 北陸12号 五百万石 石川門	1 等
			2 等
			3 等
	2 等	●もち米 カグラモチ 白山もち	1 等
			2 等
			3 等
	3 等	各、品種ごとに実施します	

2. 共同計算費目

費 目	内 容
流通・保管に係わる経費	仮渡金の金利、保管料・入出庫料、運賃
	安全・安心に係る検査等の費用、集約保管等経費
	フレコン容器の使用料 産地精米等品質向上対策
生産・集荷・販売等に係る経費	広告宣伝費、販売推進費用 直売米管理費
その他経費	監査委員会費用
	安全安心集荷対策費
手数料	全農・JA 手数料

有限会社アグリサポート白山 スタッフ募集

- 就 業 場 所 JA白山営農経済センター 白山市井口町は7番地1
- 採用予定人数 若干名
- 雇 用 期 間 雇用期間の定めあり(採用日～平成31年3月31日) 契約更新あり(原則更新)
- 必要な経験等 農業経験のある方、また農業に興味のある方
- 職 種 農産物(水稻、ネギ、カボチャ、丸いもなど)の栽培生産と選果作業
農産物の加工(こうじ味噌、モチ加工品、かきもちなど)
- 給 与 時給850円～1,000円
- 休 日 等 週休2日制
- 就 業 時 間 8時30分～17時15分



秋の農作業用燃料特別価格

期 間 平成30年8月1日(水)～10月31日(水)

今年も当JAでは秋の農作業用燃料に対し、独自の対策を実施します。
秋の農作業用コンバイン・トラクター用軽油、乾燥機用灯油に限り、期間内の累計使用量に応じて助成させていただきます。1リッターあたりの助成額は以下の通りです。

100ℓ～499ℓ	1円助成	500ℓ～999ℓ	2円助成
1,000ℓ～1,999ℓ	3円助成	2,000ℓ以上	4円助成

農業用軽油・灯油配送
致します!



予告版 JA白山 定期積金船旅企画 第2弾

ぱしふいっくびいなす又は飛鳥IIで航く

豪華客船 クルーズ

4日間又は5日間の旅

旅行実施時期
平成32年6月～7月頃(予定)
※行き先は、未定です。平成32年2月頃に発表となります。

第1弾 平成30年実施
ぱしふいっくびいなすで航く、
小笠原クルーズ

ぱしふいっくびいなす
小笠原クルーズ
開催しました!! **第1弾**

7月1日～5日、本店に集合した参加者14名はバスで名古屋港へ向かい、船に乗り込みました。今回の船は県内外のJAで貸し切っており、ドレスコードも普段より緩め。参加者からは「別世界だった」「とても楽しめた」「帰ってきたくなかった」と、満足頂いた様子でした。

定期積金募集要項

募集期間 平成30年7月～12月

加入条件 ①個人の方に限ります

②毎月20,000円～の掛込で平成32年6月に満期到来する定期積金にご加入していただきます。

例：平成30年7月ご契約の場合…毎月20,000円×23回(満期月 平成32年6月)

■ 定期積金に関するお問い合わせは

豊かな自然…そして ふれあい
JA白山

つるぎ支店 ☎272-1515
大神支店 ☎272-0620
蝶屋支店 ☎278-2315
手取支店 ☎255-5001
白峰支店 ☎259-2003
本店金融共済部 ☎273-3131



「八神 純子 with オーケストラ・アンサンブル金沢」 —— キミの街へ ——

- 日時** 平成30年11月13日（火）
- 会場** 石川県立音楽堂コンサートホール
- 応募対象者** JAで年金の振込を指定していただいている方
※新規受取・他金融機関よりJAへ変更手続き中、年金指定予約していただいた方のうち受給開始まで1年以内の方も対象となります。
- 応募期間** 平成30年9月21日（金）
- 招待者数** 抽選でペア31組（62名様）をご招待します。
- 応募方法** 応募用紙に必要事項をご記入のうえ、ご利用JA店舗窓口にお持ちください。
- 当選発表** コンサートチケットの発送をもって、発表にかえさせていただきます。（平成30年10月3日（水）を予定）

私たちの （平成30年6月末実績参考）

組合員数	6,864名（団体含）
貯金残高	71,231百万円
貸出金残高	17,373百万円
長期共済保有高	2,115.4億円
購買品供給高	601,711千円
販売品取扱高	77,383千円
職員数（パート除く）	140名

無料税務相談会 **要予約**



当JA顧問税理士
福田 正寛

- 開催日時** 平成30年8月24日（金）
平成30年9月25日（火）
午前9時～12時（基本30分単位）
- 開催場所** JA 白山 本店

お問い合わせ・お申込先（担当/本店総務課 谷口）

TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。